



こ すげ まさ し
小 菅 雅 司

しん わ かい
津 和 会

全国学力・学習状況調査をどう活かすのか

問 毎年、全国学力・学習状況調査が行われているが、特別支援を受けてみえたり、外国につながる子どもたちも対象になっているのか。

また、全国学力・学習状況調査は、学力調査の順位ばかり注目されるが、本来の目的として、子どもたち一人一人の学力向上につなげてこそ意味があると思うが、そのためにどのような取り組みをしているのか。

答 全国学力・学習状況調査は、質問の子どもたちを含め、小学校第6学年と中学校第3学年の教科書を学んでいる全ての子どもたちを対象としている。

津市の調査結果からは、学習したことを応用する力に課題があるものと考えている。

また、各学校でも細かく調査結果を分析しており、子どもたち一人一人の結果や学校全体の様子、改善に向けた取り組みの方向性などを保護者の方々へフィードバックしている。

さらに、学習状況を分析すると、家庭での保護者との関わりや生活習慣等がポイントとなっていることから、家庭学習の手引きを作成し、生活習慣や学習習慣の確立に向け、保護者やPTA連合会とともに取り組みを進めていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○津なぎさまち、中心市街地、津インター周辺をつなぐ新都心軸の今後の展開について

○命の道としての津なぎさまちから津インターをつなぐ県道津芸濃大山田線の鉄道高架付近の安全対策について

○教育について

・「輝きプロジェクト」の成果と課題、特別支援学級の現状と課題について など



▲子どもたち一人一人の学力向上につながる取り組みを



くら た かん じ
倉 田 寛 次

しみんくらぶ
市民クラブ

美杉小学校・美杉中学校の活性化は

問 美杉地域の方々が2年余りをかけ市に要望され、認めていただいた小規模特認校制度は、市内でも特に少子化が進んでいる美杉地域の活性化、学校教育の活性化につながり、子どもたちから元気がいただける、大変ありがたい制度である。

この小規模特認校制度の対象である美杉小学校・美杉中学校について、市はどのように取り組んでいくのか。

答 美杉小学校・美杉中学校は小中一貫教育のひとつの拠点として、これから取り組んでいきたいと考えている。

学校としては、少人数のよさを生かし、一人一人の子どもたちの様子に応じた授業をしたいと考えており、個人的な資格取得やいろんな競技等子どもたちの特技を生かすものに挑戦していくサポートをしていきたい。

また、美杉地域は、多気の北畠神社や森林セラピー基地等特色ある地域であり、小中学校が一緒になって異年齢集団でふるさとを学ぶことで心豊かな子どもたちの集団をつくりたいという目標を掲げており、教育委員会としても全面的にサポートしていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

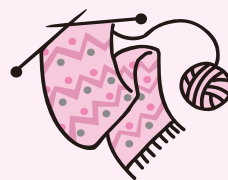
○ウッジョブ映画について

○津市産業・スポーツセンターについて

○地域インフラ整備事業の成果について

○防火施設について

○獣害対策について



▲小中一貫教育の推進に期待が寄せられる美杉小学校